

apo

Product for Clients

Career Power Life & Information Plaza

Powered By CareerPower 株式会社 キャリアパワー

Vol.101

2024.12 DECEMBER

早期化・長期化する就活環境で、一人ひとりの「個性」と向き合うキャリア支援を

成蹊学園 成蹊大学

キャリア支援センター
事務室 事務長

本郷 有充様

2003年に成蹊学園に所属
広報グループ、教務部課長を経て
2021年より現職



1912年に教育者中村春二氏によって創立された「成蹊実務学校」を源流とし、2024年には吉祥寺移転100周年を迎えた学校法人成蹊学園。建学の精神の一つとして「個性の尊重」を掲げ、小学校から大学まで少人数教育を徹底、学生一人ひとりの個性を伸ばすことを重視しておられます。その姿勢は就職支援でも発揮され、キャリア教育科目の設置や、個人に寄り添ったキャリア支援などを通じて、高い就職率を実現されています。今回はそんな成蹊大学キャリア支援センター事務長の本郷有充様にお話をお伺いしました。

成

蹊大学のキャリア教育科目は、全学部共通の教養教育「成蹊教養カリキュラム」の中に位置付けられています。

れています。

全学部の学生と一緒に受講できるワンキャンパスの特色を生かし、文系・理系の異なる視点の交流を通じて、課題の発見から解決に導くために必要な考え方や能力の獲得を目指しています。

また、少人数教育で学生それぞれの個性に合ったキャリアプランを用意しているのも本学の特徴です。キャリア科目の大半がグループワークやグループディスカッションを主としたアクティブラーニング型の少人数科目となっています。

建学の精神の一つである「個性の尊重」をキャリア支援でも大切に、伝統的に個別相談を重視しています。これは本学の規模だからこそ実現できることです。

私自身も30歳のときに保険業界から成蹊学園へやってきましたが、職員の大半が民間企業経験者で、社会人経験豊富な相談員がきめ細やかな支援を実施しているのが本学の特徴のひとつです。

特徴的なプログラムの一つとして「キャリアセン LIVE」があげられます。昼休みにZoomで行う生配信イベントで、学生は顔出しなし、氏名も伏せて気軽に参加でき、チャットで質問できます。タイパを意識する学生にとってはとても有効ですし、こういう場では学生が本当に知りたい質問をしてくれるのでとても有意義だと考えています。



本学独自の産学連携の人材育成プログラムである「丸の内ビジネス研修 (MBT)」は 2023 年に 10 周年を迎えることができました。三菱グループをはじめとする多数の有力企業様のご協力のもと、企業から出された課題にチームで取り組む学内研修やインターンシップ実習に約 7 か月間かけて取り組めます。

また 2023 年から始まった「三菱海外ビジネス研修 (MOBT)」は、高いグローバル意識を持ち、将来海外で活躍したいと考えている学生を対象とした新たなプログラムです。選抜された約 10 名の学生が協力企業様に派遣され、現地スタッフや駐在員の方との交流の中で、文化・宗教・働き方・ビジネスモデルなど多様な切り口からグローバルマインドを醸成し、将来的なキャリア形成につながる貴重な経験を積んでいます。

必要なのは、一人ひとりに合わせたカウンセリング

これらは学生にとって相当なストレスで、疲弊してしまう学生も増えています。個別相談中に泣き出してしまふ学生もいるほどです。

ですので、キャリアカウンセリングにおいて、これまで以上に「メンタルケア」が重要になっていると感じています。

また、以前に比べ、入試方式の多様化により色々なタイプの学生が入学するようになりました。それに伴い、相談も非常に多岐に渡り、内容も複雑化しています。

相談に来た学生のパーソナリティを十分に理解し、一人ひとりの特性に応じたオーダーメイドのカウンセリングがこれまで以上に必要となってきたといえます。

キャリアコンサルタントには、そのような事情に対応できる幅広い知識と柔軟性を併せ持ち、かつ、どんな悩みも受け止められるような、懐の深さが求められているように思います。

大学に限って考えるならば、就職活動の早期化・長期化の傾向が強まるなか、長期にわたり学生を支援していく必要があります。したがって、キャリアコンサルタントは、一緒になってゴールを目指すことのできる「伴走者」のような存在として位置づけられるのではないのでしょうか。

学外のエージェントから紹介されるがままに企業を受けて内定をもらったものの、考え直して就活をリスタートする学生もいます。学生ファーストで中立的な立場から支援を行うことのできる、センターのキャリアコンサルタントをまずは頼ってほしいと思っています。

就職活動の早期化・長期化という課題

昨今の就活環境は「売り手市場」で、学生にとって優位な状況が続いています。複数の企業から内定をもらえる学生も増え、キャリア支援センターでは「どの企業を選べばよいか」という贅沢な悩みや相談も増加しています。一方で、大手企業の求人倍率は、0.5 倍を切っており、大手企業に限っては厳選採用の状況が続いています。

そのような状況下ですが、成蹊大学 24 年卒の有名企業 400 社の実就職率については、13.3%から 21.6%と大幅に改善しています。また、トータルの就職率は 97.4%と昨年度に引き続き好調で、文系の 2 人に 1 人以上、理系の 3 人に 2 人以上が従業員 1000 名以上の大企業に就職しています。

一方で、キャリアコンサルタントの方々にとっては、内容の複雑化、重い相談が増えることにより、精神的負担が大きくなってきているのも事実です。業務終了後に引きずらない「切替え力」といったものも求められるのではないかと考えます。

キャリア支援センターでは、所属するキャリアコンサルタントのカウンセリング能力や学生対応力の向上のため、月 1 回勉強会を行い、カウンセリングにおける悩み相談や意見交換、グッドプラクティスの共有などを行っています。

キャリアコンサルタントが一人で抱え込んでしまわないように、全員で話せる機会を設けるようにしています。

学生のニーズに合わせたイベント企画

キャリアカウンセリングは専任職員も行っていますが、専任職員は様々な部署に異動するゼネラリストですので、ずっと

今の就職活動は、インターンシップへの参加が、ほぼ必須のような状況です。3 年生の夏に各社が一斉に実施するのですが、その参加にも選考があり、選考対策も始めなければならず、これまでに比べ早期に就職活動をする事態になっています。

3 年生はゼミや部活、サークル等の課題活動においても中心的役割を果たし、学業や課外活動にとことん打ち込んでほしい時期ですが、就活の早期化によりそれが難しくなったり、本来 3 年生で行くことが望ましい留学についても、就活時期と被ってしまうことで、3 年生からの留学を躊躇したり諦めたりしてしまう学生が増えていることは課題だと感じています。

また、本命はやはり大手企業が多く、そうした企業は 4 月～6 月が面接のピークなので、必然的に就活が長期化してしまっているという問題が起きています。

従事できるわけではありません。専門性という意味では、どうしても限界が生じてしまいます。

ですので、キャリアパワーをはじめとする外部の企業から、高い専門性を身に着けたスペシャリストの方々にお越しいただき、とても助かっています。以前から課題としていた「個別相談の予約が取れない」という学生の不満はかなり解消できました。

また、人間的に余裕ができたことで、専任職員が新たなイベントの企画や運営にも携われるようになりました。

年間約 200 件のイベントを企画・運営しており、特に卒業生を招いての本音トークは、拘束時間や年収などざっくばらんな話が聞ける場として好評です。

こうした学生のニーズに合わせたイベントを行うことが、有名企業 400 社の実就職率の向上に貢献していると考えています。

引き続き、世の中の動向を敏感にウォッチし、学び続ける姿勢を大切にしながら、本学のキャリア支援にご協力いただけることを期待しています。



いままでの経験を活かして、キャリアパワーに転職 新規業務をイチから開拓してきた11年



水野 幸恵さん
Yukie Mizuno
名古屋市内の大学勤務
2013年～

今 までにいくつかの大学などの教育機関で働いた経験から、キャリアパワーの名前を知っており「大学の求人が多い」という印象を持っていました。これまでの経験を活かせるところで働きたいと考えていたところ、キャリアパワーで求人を見つけ応募しました。

名古屋市内の大学に勤務し11年目になります。入社してから、外国語教室を担当しており、7年目からは、それに加えて化学教室の業務を担当しています。その他、物理教室では、交代でスタッフが勤務しているので、その業務把握もしています。

化学教室は教務関係と、物理教室は授業で行う実験の手順説明を主にしています。

詳細な情報共有をスタッフリーダーとして努めています

物理教室の業務はスタッフが二人、交代で勤務してもらっています。日報を活用しつつ、その日の様子を直接聞くことを特に大事にしています。スタッフ同士は顔を合わせる機会がほとんどないので、私が間に入って細かいことまで把握し、お互いに伝えることで、全員で情報共有をしています。また業務全体について、いつでも私に対応できるよう準備しており、皆が働きやすい環境になるよう工夫しています。やりがいを感じるのは、学生の成長をサポートできる点です。様々な関わり方のサポートがありますが、スムーズな授業運営は学生への支援につながると考えています。

クライアント様と一緒にチャレンジ

キャリアパワーとして、この場所で業務委託を受けるのは初めてのことでした。そこで、一からマニュアルを作り、大学様とも話し合いを行い、多くの試行錯誤を経て業務を順調に進めることができました。この過程は大変でしたが、何か問題が発生するとすぐに先生方に相談することができたので本当に心強かったです。業務の正確さやスピードはもちろんですが、キャリアパワーに業務を委託して良かった

と思ってもらい、信頼を築けるよう、堅実な対応を心掛けています。

職場は比較的、静かな環境です。学生さんが勉学に励むのに良い環境ですし、私も働きやすいです。昨年度は思いがけず、大きく体調を崩してしまったのですが、先生方や一緒に働いているスタッフの方々に助けて頂き、とても有難かったです。また、どんな時も先生方がとても真摯に学生さんに向き合われているので、私も仕事へのモチベーションの維持に繋がります。

事前の段取りを極めて、変化へ柔軟に対応すること

これまでに、働きながら子育てを両立してきた先輩方の姿を見て、大きな励みを得てきました。時短できる家事のコツを教えてもらったり、休日には家事をまとめて行うなどしています。私の息子も現在は大学生ですが、子育て中には予想外の事態が起こることもあるので、可能な限り先のスケジュールを調整し、問題が生じても業務に集中できるように、早めに物事に取り組むように努めています。

新型コロナウイルス感染症の流行により、大学が閉鎖されたり、遠隔授業に移行するといった予期しない変化がありました。時代の変化を受け入れ、柔軟に対応できるよう心掛けていきたいと思っています。

第22回京都学生祭典を応援しました

今 年で22年目を迎える京都学生祭典。2024年10月13日に、平安神宮・岡崎公園一帯で行われた第22回京都学生祭典本祭は、秋晴れのもと多くの来場者で賑わいました。キャリアパワーはこの祭典を第一回目から毎年応援しています。「京炎そでふれ！コンテスト」や「Kyoto Student Music Award」などのステージのほか、昨年ベトナムで行われた京都府主催イベントで交流のあったベトナム フエ省の学生たちが、京都学生祭典で演舞を披露しました。第22回京都学生祭典のテーマである「繋ぐ軌跡、築く未来」実現にむけて、キャリアパワーは、未来を担う学生・若者の活躍を引き続き応援していきます。



Information

図書館総合展に出展しました

第 26 回図書館総合展に出展し、キャリアパワー主催のフォーラムを開催させていただきました。

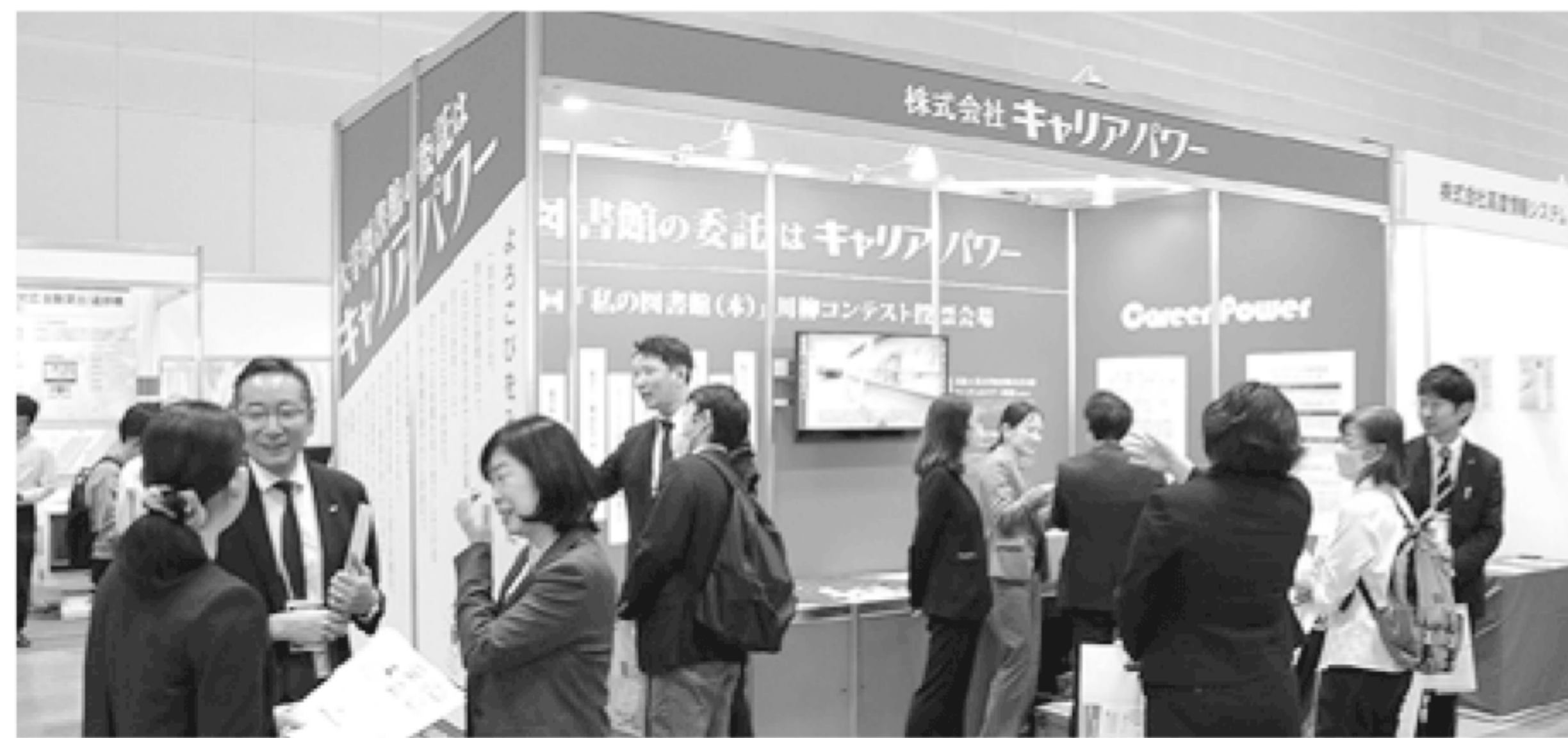
フォーラムはパシフィコ横浜での現地会場とオンラインのハイブリット開催を実施。獨協大学外国語学部ドイツ語学科の教授であり、同大学の図書館長でもある山本淳様を講師としてお招きし、「図書館—く天使—の棲むところ— W. ヴェンダースと A. キーファーを手掛かりに—」をタイトルに、二人の巨匠が制作した作品について、「図書館」「書物」というキーワードで結びつけて解説、未来の図書館のあり方についてご講演をいただきました。また質疑では、図書館とインターネットの役割について質問があり、図書館が提供する「情報だけではない、身体感覚と連動した読書体験」の重要性についても触れられ、参加者全員が真剣に聞き入っておられました。

キャリアパワーブースでは、図書館業務委託をはじめとする各種サービスをご紹介しますとともに、「私の図書館（本）」川柳コンテストの投票を行いました。約 3,500 件の応募作品から選ばれた入選 13 作品をブース内に掲示し、436 名の方に投票をいただきました。おかげさまで多くの図書館関係者の皆さまにご参加いただき、大盛況のうちに終了となりました。



当日の様子は左記 QR コードから、
ご確認ください。

<https://www.careerpower.co.jp/service/news241112/>



Information

第 6 回 私の図書館（本）川柳コンテスト結果発表

第 6 回「私の図書館（本）」川柳コンテストを開催。今回は約 3,500 件の応募をいただきました。その中から 13 句を厳選な審査により選出し、ホームページでの WEB 投票ならびに、第 26 回図書館総合展キャリアパワーブースにお越しいただいた皆様からの投票で最優秀賞を選出いたしました。日頃、図書館や本に親しむ姿が目につかぶ、素晴らしい作品が多数寄せられました。ご投句いただいた皆様、そして、投票してくださった皆様、本当にありがとうございました。



入選作品は左記 QR コードから、
ご確認ください。

<https://www.careerpower.co.jp/service/senryu2024result/>



Information



バックナンバーをご覧ください

キャリアパワーホームページから、Capo のバックナンバーをご覧ください。紙版のバックナンバーもごさい。ご入用の方はお申し付けください。

TEL 075-341-2929 <https://www.careerpower.co.jp/capobn/>



Information

びわこペーロン大会に出場しました

キ ャリアグループとして、27年連続で出場しているびわこペーロン大会に、今年も出場しました。部門やエリア、グループ法人を超えたメンバーが、広々とした琵琶湖湖畔で一丸となってレースに臨みました。レースが始まると、集まったメンバーやその家族からは、大きな声援が上がっていました。また、レース後の懇親イベントでは、バーベキューを開催！ビンゴ大会が行われるなど、充実した1日となりました。



Seminar Information

ご登録者を対象に、オンラインセミナーを定期開催しています

これまでの開催テーマ

EXCEL 講座

ショートカット、置換、COUNTIF、書式設定
条件付き書式、VlookUp
グラフ作成
ピボットテーブル
マクロの基本講座
プルダウンリスト
印刷設定、ブックの保護、パスワードのかけ方
オートフィルタ（並び替えと抽出）
知っている便利な関数（ROUND/MAX/SUMIF など）

WORD 講座

文字入力、書式設定、印刷設定
文章レイアウト（段組み/インデント/箇条書き）
表作成、差し込み印刷

PowerPoint 講座

画面切り替え、アニメーション、スライドショー

いまさら聞けないシリーズ

Zoom（基本操作、アカウント設定）
LINE、Instagram、Twitter、YouTube
ビジネスマナー、電話応対など

毎

週火曜日と木曜日の週2回、登録スタッフの皆様に向けてオンラインセミナーを開催しております。内容は業務に関連するソフト操作などが中心。ご自身のスキルアップに、お持ちの知識のおさらいに、ぜひご活用ください。開催情報はメールにて随時お知らせ。もちろん参加無料ですのでお気軽にご参加ください。

詳細はメールでお知らせ
参加無料



法令順守委員会

キャリアパワーは、労働者派遣法や労働基準法など各種労働法令を遵守し、常に適正な事業運営を果たすために、社内に法令遵守委員会を設置しています。定期的に派遣先を巡回、また社内監査を行ないながら、派遣契約内容を改めて見直し、法令の遵守が出来ているかの再チェックを行なっています。また、全社員に対して法令知識向上とコンプライアンス遵守の意識強化のために、定期的に研修会や勉強会を実施し、コンプライアンスの課題解決や事前防止の徹底を図っています。遵法精神を貫くことで、当社で働く派遣労働者、そして人材派遣を利用される全ての派遣先企業様に、よりいっそう満足して頂ける様、活動を行なってまいります。

派遣コンプライアンスに関する問い合わせ先

TEL 075-341-2929

MAIL support@careerpower.co.jp

キャリアパワー各支社へは ☎ 0120-154-450 にお気軽にお問い合わせください

東京 〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-7-2 東京サンケイビル15F
大阪 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 1-12-17 JRE 梅田スクエアビル 2F
名古屋 〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 3-25-9 堀内ビル8F
京都 〒600-8216 京都府京都市下京区塩小路通烏丸西入東塩小路町 843-2 日本生命京都ヤサカビル4F
滋賀 〒525-0037 滋賀県草津市西大路町 2-5 Nビル5F
システムセンター 〒600-8269 京都府京都市下京区七条通堀川西入西八百屋町160

TEL 03-6895-2929 FAX 03-6895-2911
TEL 06-6346-2929 FAX 06-6345-1268
TEL 052-563-2929 FAX 052-563-3511
TEL 075-341-2929 FAX 075-341-3828
TEL 077-516-2929 FAX 077-516-2930
TEL 075-344-6776 FAX 075-344-6780

発行

株式会社 キャリアパワー

企画 / 制作

株式会社 キャリアクリエイト

2024年12月発行

Vol.XXVII 「資料保存を考える」

我 が国の図書館法において、図書館とは、「図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設」と定義されており、地域の歴史や文化を未来へ残す、重要な役割を担っています。図書館で保存する資料は圧倒的に紙資料が多く、災害によって破損したり、またカビが生えたり虫に食べられるなどの被害にあった場合、未来へ情報を伝えることができなくなってしまいます。大切な情報を未来へ残すために日常からできる対策とはどういったものがあるのでしょうか？

■ 文化財 IPM (総合的有害生物管理)

かつては生物被害が発生すると燻蒸による一斉駆除を行うことが定番でしたが、燻蒸剤として利用されていた臭化メチルがオゾン層破壊物質に指定され、先進国では2005年に全廃となりました。現在は、被害が起きてから対処するのではなく、被害を未然に防ぐ予防保存の考え方が中心となっています。その実践的な取り組みのひとつである「文化財 IPM (Integrated Pest Management: 総合的有害生物管理)」は文化財を加害する生物(文化財害虫)に対して様々な防除方法を合理的に組み合わせて用いることで、被害を未然に防ぐ保存管理体制のことを指しています。

5つのステップ	
1. Avoid (回避)	カビや虫を発生させるものの除去 ▲館内清掃、資料クリーニング、空調管理、整理整頓、不要物の除去
2. Block (遮断)	水や害虫が侵入するルートの遮断 ▲外周の点検、粘着マット、靴カバー、書庫搬入前殺虫、隙間の目張り、網戸
3. Detect (発見)	早期発見、記録の作成 ▲目視点検、トラップ調査、温湿度の計測、通報ルートの整備、情報共有
4. Respond (対処)	資料の安全な方法での対処 ▲空調設備の調節や導入、消毒用エタノールによる清拭、専門業者への依頼
5. Recover/Treat (復帰)	安全な収蔵空間に資料を戻して復帰 ▲記録の作成、再発防止、継続的な観察

1. Avoid (回避)

文化財害虫から資料を守るために、まずは外部からの侵入を防ぎましょう。ゴミなどは害虫の餌になるものがありますので、日々の清掃が重要です。また、カビを発生させないためには室内の湿度を60%より低く維持するように注意しましょう。結露が発生しやすい場所は特に注意してください。

2. Block (遮断)

害虫の侵入を防ぐため、建物の隙間や開口部には網戸や防虫ネット、ドア用隙間対策ブラシを取り付けることが有益です。また、書庫の出入口には粘着マットや室内履きを設置し、塵や埃を持ち込まないようにしましょう。新たな収蔵資料の受入時に付着してきた文化財害虫の侵入を防ぐため、低酸素濃度(脱酸素)処理などの対策を施してから館内に入れることが理想です。

3. Detect (発見)

日常点検により早期発見することが重要です。虫の監視としては、粘着トラップを決まった場所に設置して定期的に確認し、捕まえた虫の種類、数を記録しましょう。生息状況を把握し、侵入経路を特定することで対策を立てることができます。また、日常点検時にライトをあてて書架や資料を確認すると、埃やカビが浮かび上がり観察しやすくなります。定期的に館内を巡回し、決まった場所で温湿度を記録して温湿度が一定に保たれているか確認しましょう。

4. Respond (対処)

文化財害虫が発生した場合は、資料に発生しているのか建物に発生しているのかを見極め、直ちに拡散・被害を阻止するための対処が必要です。資料に発生していると考えられる場合はまず隔離して観察し、害虫の種類を特定し、対処法を見極めましょう。カビが発生した場合においても、資料に発生している場合は隔離し、資料だけでなく発生場所の清掃を行いましょ。

5. Recover/Treat (復帰)

安全な空間を確保して資料を戻します。必ず時系列で記録を残し、再発防止策を検討し、実施しましょう。

予防のためには、Avoid (回避)、Block (遮断) が重要です。虫やカビは、生息条件さえあれば次々に繁殖し、被害が急速に拡大します。発生させないために一番重要なことは埃を取り除くこと、すなわち日々の清掃です。長期的に日々、温湿度を記録することで、その館の個性が見えてきます。その個性を分析し、環境に合わせた対応をすることが大切な資料を守ることにつながるのです。

「文化財 IPM コーディネータ」という資格もあります。興味を持たれた方は、文化財虫害研究所のサイトをご確認下さい。
<https://www.bunchuken.or.jp/shikaku/ipm/>

〈参考資料〉 東京文化財研究所. “「IPM」とは” (IPM 関連資料一覧). <https://www.tobunken.go.jp/japanese/ipm-list/index.html> (参照 2024-11-19)
 文化財虫害菌研究所. “文化財の日常管理 (IPM) のこと”. <https://www.bunchuken.or.jp/management/> (参照 2024-11-19)
 国立国会図書館資料保存課. “図書館における資料保存. 第22回日本古典籍講習会 (2024年度)”.
https://www.ndl.go.jp/jp/preservation/pdf/training_text_1_basic_preservation_2024.pdf (参照 2024-11-19)
 東京文化財研究所. “文化財の生物被害防止ガイドブック: 臭化メチル代替法の手引き (平成15年度版)”. 2003,
<https://core.ac.uk/download/pdf/159513721.pdf> (参照 2024-11-19)

■ Red Drops

ご存じですか? キャリアパワーのあかいドロップ

「This We Believe…」わたしたちキャリアパワーの信じるころ。その思いから生まれた小さな冊子が「キャリアパワーのあかいドロップ」です。出会うことができたすべてのスタッフの皆様の方に、私たちの思いをお伝えしたい。そして、一人でも多くの方の心に、その思いを留めてほしい。ずっと変わらぬ思いでお届けしています。ぜひご愛読ください。

ご希望の方に配布中です
 ☎ 0120-288-450 info@careerpower.co.jp

